

琵琶湖ミシガンクルーズ(バス旅行)

29期 村井重夫

10月20日、ふくの会(29期)では大集合と称して観光バスで滋賀県へ行き、琵琶湖のミシガン号に乗船した後、大津プリンスホテルでの中華ランチ、南郷洗堰での水のめぐみ館見学、叶匠寿庵すないの里での買い物、帰路の車中ビンゴゲームを楽しみました。参加者は35名。ドリーム観光サービス、みつわバスのお世話になりました。

ふくの会は今年が創立10周年記念の年に当たるため、繰越金の10万円を旅行代金に充てることで参加費を安くしました。また、バス旅行は幸いコロナの7波と8波の谷間になり、全国旅行支援制度(新Go To Travel)が実施されることになり、旅行代金(11,380円)は40%安くなりました。ただし、その適用を受けるために、朝一番のバス乗車時に検温とアルコール洗浄はもちろんでしたが、ワクチンの接種証明(またはPCR検査陰性証明)と本人確認書の提示が必要でした。推定平均年齢79歳のふくの会メンバーにとっては、コロナの証明書提示は一大事であり、メンバーの中にはお互いに連絡を取り合って準備された方もありました。そんな検問をくぐって、晴れ晴れした気分に乗船したミシガン号からは、何十年に1回というほどの雲1つ無い晴天を仰ぐことができ、鈴鹿山脈、伊吹山、比良山脈、比叡山を一望することができました。

ふくの会創立時は100名だった会員は、現在58名(内、学友会会員は32名)になりましたが、心をゆるして集まれる高齢者の同窓会が続いていることに感謝し、全員無事にバス旅行を終えました。

